

事業所名		生活クラブ風の村重心通所なりた				支援プログラム（放課後等デイサービス重小型）				作成日	2025 年	3 月	10 日
法人（事業所）理念		私たちは、一人ひとりの個性と尊厳を尊重し、基本を大切にした質の高い支援を目指します。 私たちは、地域の皆さんと共に、誰もがあらひのままにその人らしく地域で暮ることができるようなコミュニティづくりに貢献します。 私たちは、情報公開、説明責任を大切にするとともに、希望と働きがいがある職場を、自らが参加してつくります。											
支援方針		・主体性を中心に据えよう ～決めつけず、まずは気持ちを確かめる～ ・never say never ～できないと決めつけない～ ・「関心」こそが専門性 ～サインを見逃さない～ ・医療的ケアは本人の生活の一部 ～医療的ケアは“特別” じゃない～ ・あなたとわたしはパートナー ～わたしたちは共生している～											
営業時間		放課後時	14 時	0 分	から	17 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり			
		終日時	9 時	0 分	から	15 時	0 分	まで					
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	●当事業所はライフステージの一部であることを認識して「連続性」を大切にするために、引継ぎ時や計画作成時等には必ずご家族・学校等から必要な情報をヒアリングします。 その上で水分・エネルギーが足りているか、体力消耗や体調・気分はどういう状態かを把握し、当日の過ごし方や支援の内容を適宜判断して対応します。 ●睡眠のリズムを安定できるよう、ご本人の体力や体調に配慮しつつ、できる限り利用時間中は起きて楽しく過ごしていただけるよう支援します。 ●過度な体力消耗や褥瘡防止等のため、車椅子に乗っている時間が長くなりすぎないように床に降りて身体を緩める時間を適時設けます。 ●正しい姿勢を保持して健康な身体を守るため、学校やリハビリ職と共通の課題に取り組みます。 ・「体温・体調確認」…来所時及び終日利用時は昼食後に体温・体調を確認します ・「スヌーズレン」「ブラコ」「バランスボール」「音楽活動」等…緊張を緩和することで側弯等を防止し、健康な身体を守ります ・「摂食」…食事は健康の基本であることを理解し、少しでも口から食べる楽しみを知っていただけるよう、専門性を生かした介助をします。口唇訓練なども行います。 ・「足浴」「アロマ」…血の巡りを良くするためアロマオイル等を使いながら楽しく足浴します											
	運動・感覚	●正しい姿勢を維持するため、ボディイメージの正しく捉えたり平衡感覚を育むため、様々な姿勢を取れるように支援します。 ●正しい姿勢を保持して健康な身体を守るため、学校やリハビリ職と共通の課題に取り組みます。 ・「音楽活動」等…音を感じて楽しみながらボディイメージを意識したり、機能向上できるよう支援します ・「バランスボール」「ブラコ」…平衡感覚を養います ・「ポジショニング」「座位」「立位」「歩行」…抗重力姿勢をとり、足底で体重や重力を感じるとともに、側弯の予防に努めます ・「足浴」「アロマ」等…様々な感覚を身体に入れて過敏・鈍麻の改善、感覚の体験を支援します											
	認知・行動	●様々な感覚や経験を体験することでご本人の世界を広げられるよう支援します。 ●季節を感じる習慣を身につけることで生活の楽しみを増やせるよう支援します。 ●支援者がこれから行うこと、ご本人の身にこれから起きること、ご本人を取り巻く環境のこと等をできる限り言葉やツールを用いてご本人に伝えることで、今まさに何が起きているかをご本人に知っていただき、世界を広げられるよう支援します。 ・「散歩」…気候、草花、匂いから季節を体感できるよう支援します ・「外出」…日常的に行くことのできない場所に向い出て過ごすことで、非日常を体験する機会を提供します ・「各種ゲーム」…競争、成功、失敗、ルールを理解・体感し、喜怒哀楽を表現できるよう支援します ・「感覚遊び」…様々な感触・感覚・知覚を身体に入れて、道理を理解したり認知力を高められるよう支援します											
	言語 コミュニケーション	●他者に対して快・不快や喜怒哀楽を伝える力を育むため、各ご利用者のサインを見逃さないよう支援します。 ●他者に自分の意思を伝える術を身につけられるよう努めて可能な限りサポートします。 ●ご本人が理解できるツール（言葉、視線入力、絵カード等）や言葉を選択して用いることで、コミュニケーションの成立とその楽しさを伝えます。 ●支援者がこれから行うこと、ご本人の身にこれから起きること、ご本人を取り巻く環境のこと等をできる限り言葉やツールを用いてご本人に伝えることで、今まさに何が起きているかを共有する存在としてご本人を認めます。 ●できたことだけではなくやろうとしたこと（挑戦・試行）も認めて信頼関係を築きます。											
	人間関係 社会性	●将来的にご本人が新しい環境に身を置いたとしても自己表現（快・不快、喜怒哀楽、意思）でき、相手に伝わるコミュニケーション方法を確立できるよう支援します。 ●様々な年齢・未知の環境に身を置く人と関わる機会を設けることで社会経験を積み、大勢の中に身を置くことで社会性を身につけられるよう支援します。 ・「施設交流」…複合施設内の同一法人高齢者事業所と合同で交流イベント「秋祭り」を実施し、楽しみを共有する等の社会経験を積み機会を提供します ・「音楽活動」…音楽を介してお友達と一緒に演奏したり遊んだりして関係性を深めます											
家族支援		・モニタリング面談、送迎時を中心にさまざまな話をする一方で、ご本人だけではなくご家族の状況も理解するよう努めて可能な限りサポートします。 ・日頃から真摯にご本人・ご家族に向き合うことで信頼関係を築き、なんでも気軽に相談しやすい環境をつくります。 ・家族懇親会を年 1 回程度開催します。						移行支援		・入学時、サービス利用開始時、卒業時など生活に変化が訪れるタイミングには他事業所と情報共有し、ご本人・ご家族の心理的・身体的負担を軽減します。			
地域支援・地域連携		・相談支援事業所や併用事業所、学校、医師等と適宜情報共有し、必要に応じて担当者会議を呼掛け、参加します。						職員の質の向上		・職員が疑問に思ったことなどには迅速に解決できるよう研修や話し合い等を行います ・定期的に内部研修を行います。（月一回以上） ・外部研修やe－ラーニングにも積極的に参加できるような体制を取ります。			
主な行事等		・季節のイベントを開催・参加しています。お花見、紅葉、クリスマス、書き初め、節分、ひな祭りなど。 ・アールブリュット 障がい児絵画の専門家から月 1 回指導を受けて芸術表現活動を行います。											